

地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ検討会の設置について

中長期目標達成のための対策・施策のパッケージを政府として検討していくにあたり、専門的・技術的観点からの具体的な提案を行うことを目的として、「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ検討会」を設置し、調査を実施する。

1. 中長期ロードマップ調査・検討の趣旨

地球温暖化対策について、我が国は、すべての主要国による公平かつ実効性のある国際枠組みの構築及び意欲的な目標の合意を前提に、中期的には温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比25%削減する目標を掲げているところである。また、長期的には、11月に日米両国首脳の間で合意された「気候変動交渉に関する日米共同メッセージ」において、2050年までに自らの排出量を80%削減することを目指すこととしている。

長期的視点を含めた中期目標達成のためには、いつ、どのような対策・施策を実施していくことが必要かというロードマップを策定する必要がある。この目標達成のための対策・施策のパッケージを政府として検討していくにあたり、専門的・技術的観点からの具体的な提案を行うことを目的として、「地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ検討会」を設置し、調査を実施する。

2. 検討会の構成及び経緯

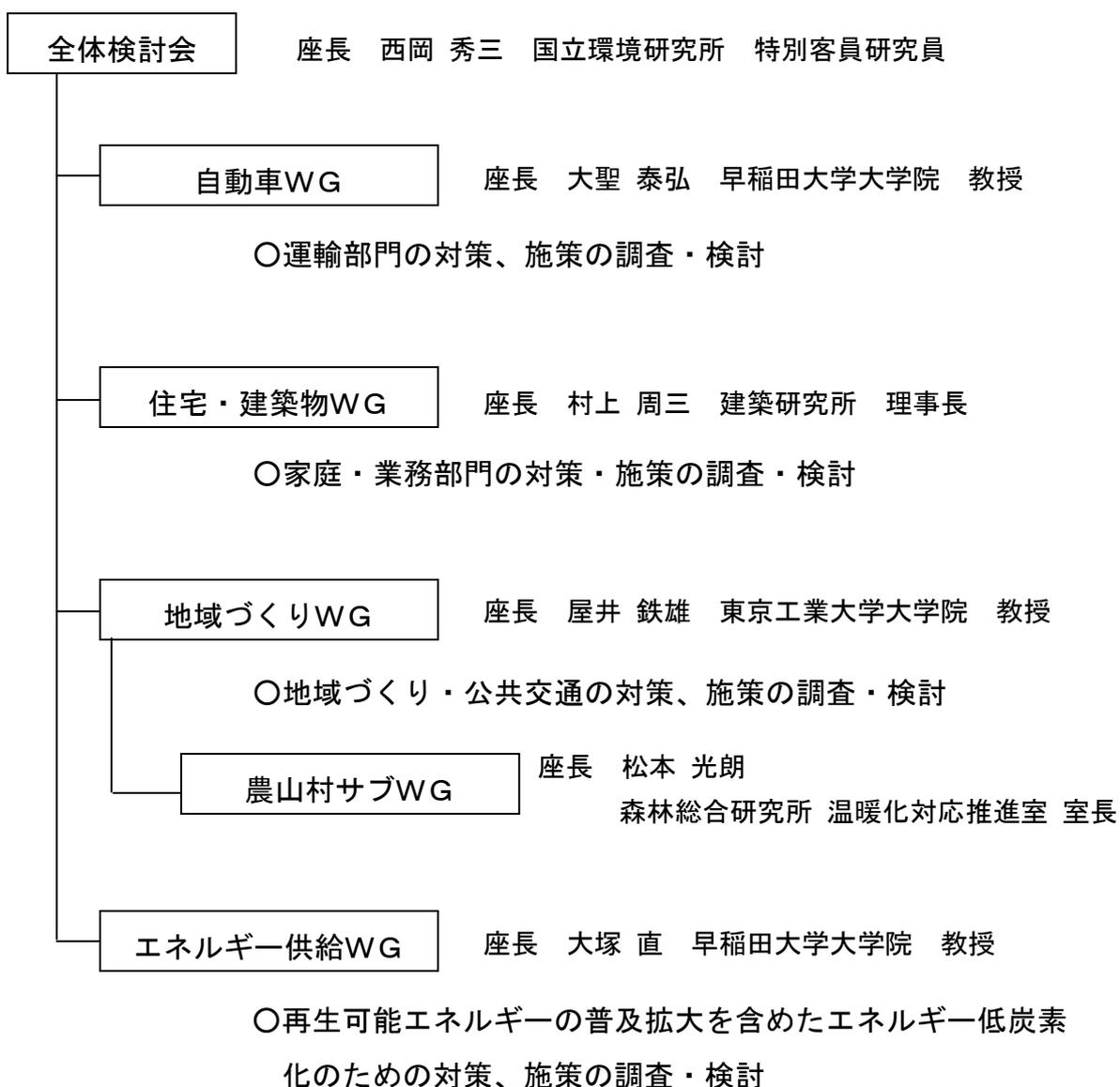
本検討会は全体検討会と分野別の4つのWG（自動車WG、住宅・建築物WG、地域づくりWG、エネルギー供給WG）から構成する。

これまでの開催経緯は下記のとおり。

- ・ 12月22日 第1回自動車WG
- ・ 12月28日 第1回全体検討会
- ・ 1月13日 第1回エネルギー供給WG
第1回住宅・建築物WG
- ・ 1月20日 第2回自動車WG
- ・ 1月25日 第1回農山村サブWG

地球温暖化対策に係る中長期ロードマップ調査・検討体制

目的：中期（25%削減）・長期（80%削減）目標達成のための対策・施策パッケージを政府として検討していくにあたり、専門的・技術的観点からの具体的な提案を行う。



以上

中長期ロードマップ調査 全体検討会 委員名簿

平成21年12月28日時点

(敬称略・50音順)

赤井 誠	産業技術総合研究所 主幹研究員
飯田 哲也	環境エネルギー政策研究所 所長
大塚 直	早稲田大学大学院法務研究科 教授
荻本 和彦	東京大学生産技術研究所 特任教授
大聖 泰弘	早稲田大学大学院創造理工学研究科 教授
◎ 西岡 秀三	国立環境研究所 特別客員研究員
伴 金美	大阪大学大学院経済学研究科 教授
藤野 純一	国立環境研究所 主任研究員
増井 利彦	国立環境研究所 室長
三村 信男	茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター 教授
村上 周三	建築研究所 理事長
屋井 鉄雄	東京工業大学大学院総合理工学研究科 教授
安井 至	製品評価技術基盤機構 理事長

◎ 座長